

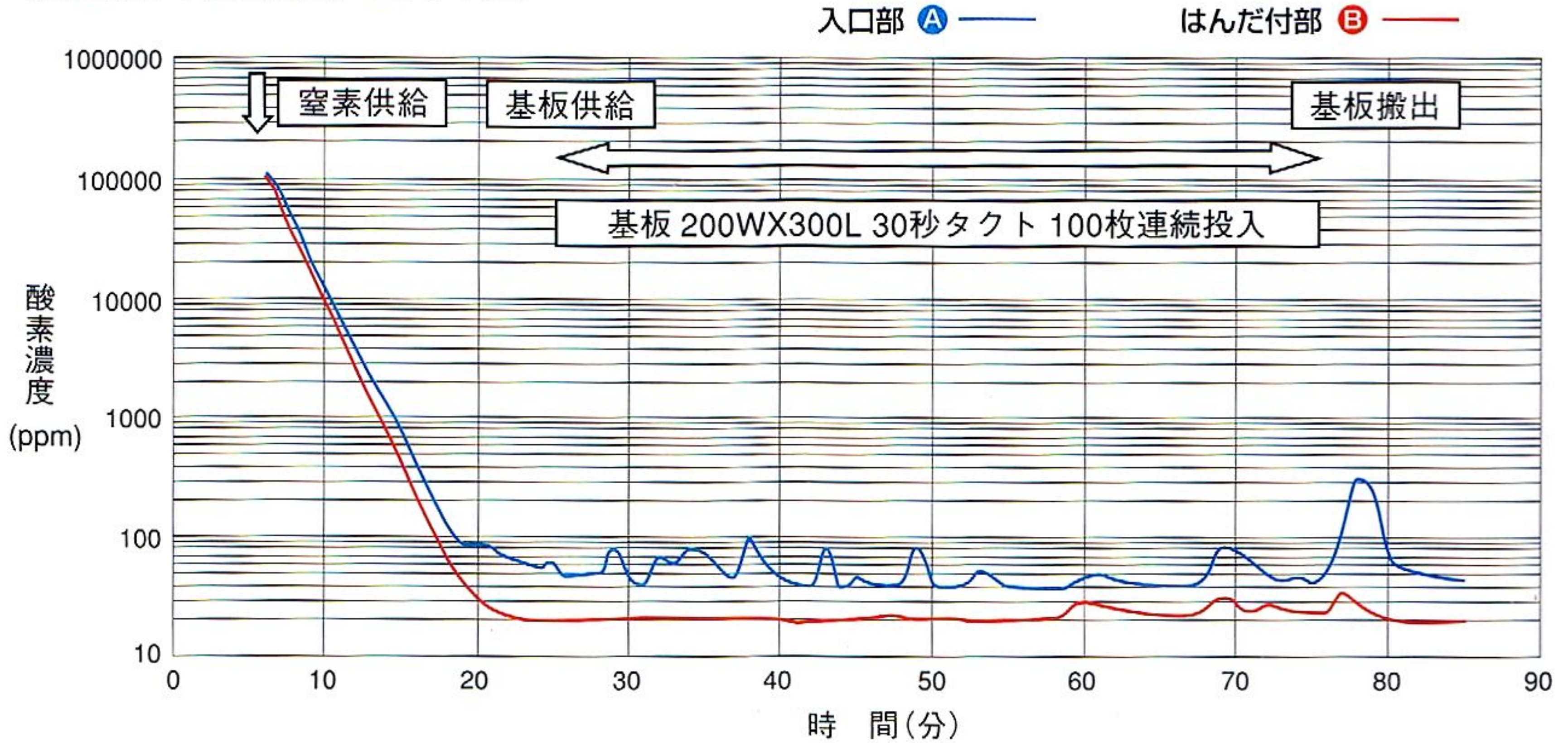
ILF-350ZII

上部カバーはハッチバックスタイルで本格的ロングフードタイプを取付け、安全性と実用性両面を考慮した機械に仕上げました。又メンテナンス性と操作性にも考慮しました。

特長

- ◎ 本格的ロングフード。
- ◎ タッチパネル操作方式。
- ◎ 排煙除去装置内蔵。
- ◎ 酸素分析計内蔵。
- ◎ はんだ槽上下モーター付き。
- ◎ はんだ槽引出しモーター付き。
- ◎ 庫内照明灯付き。
- ◎ 酸素濃度が低く安定している。

〈装置内部の酸素濃度プロファイル〉



仕様

1. 入ロラピルス室コンベア装置
コンベアモーター：単相 200V 25W × 2
2. 排煙除去装置
循環ブロー：三相 200V 200W
3. 窒素封入室、出入口ラピルス室
酸素分析計：OXA-1 AC 100V IA ジルコニア式
(サンプリングガス量250±50cm³/min)
供給窒素：Max. 約30m³/h 0.5MPa
4. 熱射式予備加熱器
熱射ヒーター：三相 200V 8.4kW
5. ジェミニスイング式はんだ槽
はんだ槽ヒーター：三相 200V 16kW
噴流モーター：三相 200V 200W × 2
スイングモーター：単相 200V 40W
はんだ量：約700kg
上下モーター：三相 200V 200W
引出しモーター：三相 200V 200W
6. 出ロラピルス室コンベア装置
コンベアモーター：単相 200V 25W × 2
シールドエア圧：Max. 0.5MPa
7. 庫内照明装置：AC 100V 60W
8. はんだ槽部駆動装置
駆動モーター：三相 200V 100W
搬送速度：600~1800mm/min
搬送角度：5度固定/出口搬出部15度
本装置総容量：三相 200V 約28.0kW

〈寸法図〉

